

一般社団法人 WIT 第三回投資先募集に関する募集要項

2015 年 4 月 9 日

WIT は、被災地の復興及び防災に中長期的に貢献しうるソーシャル・ベンチャーを投資先として募集いたします。当該事業が社会的なミッションの実現を目指すものである限り、法人格は問いません。WIT による投資や WIT との協働を通じて、社会をよくする仕組みを一緒につくりませんか？ 関心を持ってくださった団体の方は、募集説明会への参加並びに応募をぜひご検討ください。

募集要項の内容

- ❖ 投資先の選考基準
- ❖ 応募・選考のプロセス
- ❖ 投資・協働の概要
- ❖ WIT について
- ❖ 代表からのメッセージ

❖ 投資先の選考基準

1. 応募要件

- 東日本大震災の復興及び防災、被災地や被災者を対象とした社会問題解決に貢献している活動をしている団体。団体の拠点は被災地以外でも構いません。
- 法人格・設立年は問いません。
- 応募言語は日本語または英語
- 6月6日（土）に東京都内で行われる最終選考会に出席可能であること

2. 審査基準

WITは下記の基準を重視して、投資先を募集いたします。ただし、現時点の状況だけではなく、潜在的な可能性 — 投資・協働を通じて、これらの項目をどれだけ伸ばしていけるか、も含めて総合的に評価いたします。

基準	
1. 起業家精神 (Committed entrepreneur(s))	起業家（とチーム）は、この取り組みに熱意を持っており、やり遂げる意志があるか？
2. ひろがりのあるソーシャルインパクト (Inspiring social impact)	この取り組みが成功したら、世界の他の地域や分野の問題解決に示唆を与えたり、貢献する可能性があるか？
3. 効果的な問題解決法 (Effective intervention)	①取り組む社会問題を構造的に把握し、②現在の問題が存在し続ける均衡状態をよりよい均衡に変えるためのポイントを発見し、③有効な介入をしているか？
4. ミッション達成のための持続可能性 (Sustainability to achieve your end game)	①ミッション達成のために組織はどのように存続／最終的に解散することを目指しているか、②それに至るために必要な事業モデル・財務・組織体制がつかれるか？
5. 変化や協働への積極的な姿勢 (Openness for change and collaboration)	ミッション達成のために多様なステークホルダーと協働していくことにオープンか？
6. WITとのフィット (Fit with WIT)	WITが投資先のミッションの達成に向けて価値を發揮できるか？

❖ 応募・選考のプロセス

募集説明会（任意参加）、一次選考（書類）、二次選考（スカイプによるヒアリング）、最終選考（プレゼンテーション）から成ります。

1. 募集説明会

当説明会への参加は応募の条件ではありませんが、WIT の理念や支援内容、応募・選考のプロセス等について、理解を深めていただくために、オンライン形式で開催いたしますので、ご都合の合う方はぜひご参加ください。

- 日時
 - 4月14日（火）21:00～22:00
 - 4月16日（木）午前10:00～11:00
 - 4月18日（土）午前10:00～11:00
 - 4月18日（土）21:00～22:00
 - 4月25日（土）午前10:00～11:00
 - 4月25日（土）21:00～22:00
 - 5月2日（土）午前10:00～11:00
 - 5月2日（土）21:00～22:00
- 参加方法

オンライン形式で行いますので、インターネット環境とスカイプがダウンロードされたパソコン等をご準備ください。（スカイプをお持ちでない方はこちらから無料でダウンロードください。<http://www.skype.com/ja/>）
- 申込

下記の URL のフォームからお申込みください。申込いただいた方に、WIT のスカイプ ID と接続方法をお知らせします。<http://goo.gl/Sn5iDh>

2. 一次選考 5月6日（水）24:00 応募締切

- 応募書類を右記の URL からダウンロードください。<http://goo.gl/p8h4jf>
- 各応募書類の詳細の説明は、ダウンロードしていただくと見られます。記入方法に関するご質問は、募集説明会あるいは電子メール（apply@worldintohoku.org）でお気軽にご相談ください。
- 電子メールで以下の書類を apply@worldintohoku.org まで、2015年5月6日（水）24:00 必着にてご提出ください（電子メール以外では受付していません）。
- 応募書類概要

タイトル	書式、枚数
1.基本情報	フォーマットに記入。A4 2 ページ以内
2.私/チームのストーリー	書式自由。A4 1 ページ以内
3.セオリー・オブ・チェンジとインパクトの構造	書式自由。A4 2 ページ以内
4.ビジネスモデルと最終的に目指す組織の姿	書式自由。A4 2 ページ以内
5.団体の強みと課題	書式自由。A4 1 ページ以内

- 応募書類に基づく一次選考は WIT 理事で審議し、選考結果をご連絡いたします。通過された団体には、5月10日前後に二次選考（スカイプによるヒアリング）の日程調整のご連絡をいたします。

注意事項

- 特許・実用新案権等の知的財産権、及び営業秘密やいかなるノウハウなどの情報の法的保護についても、応募者の責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない内容でご提出ください。WIT では本件に関していかなる責任も負わないものとします。
- 提出書類は WIT における審査の目的のためだけに使用いたします。
- 選考途中で知り得た応募団体に関する情報で、応募団体が公表していない情報は、WIT としては公表いたしません。
- 応募書類のフォントサイズは基本 10 ポイント以上をご使用ください。図表や写真等も自由に使用ください。

3. 二次選考 5月10日(日)～5月17日(日)頃実施

- WIT 代表理事とのスカイプによる個別ヒアリング(各団体約1時間)を行い、WIT 理事により審査いたします。二次選考の結果は5月25日前後にご連絡いたします。
- ヒアリングに際しては、ご提出いただいた応募書類の他は特にご準備いただくものはございません。
- 二次選考を通過された団体は、6月6日の最終選考に向けて、プレゼンテーションの準備を行っていただきます。プレゼンテーション資料は、6月5日正午12:00迄にWITへご提出ください。

4. 最終選考 6月6日(土)に東京にて実施

- WIT の構成する投資委員会へのプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションへの参加は必須ですので、予め日程の確保をお願いいたします。会場は東京都渋谷区となります。詳細は最終選考に進まれる団体にご連絡いたします。
- 審査基準に基づき、WIT 理事で審議いたします。選考結果は速やかにご連絡いたします。
- 選考日当日は、WIT 理事に加えて、WIT パートナー、他の社会起業家の支援機関の方等をお招きする予定です。(一部、個人としての参画をお願いしています。)これは、WIT は閉じた投資・協働ではなく、広く他の財団、企業等との協働を通じた社会変革をつなぐ Catalyst (触媒) でもありたいと考えているためです。

5. 社会的投資契約の締結・協働開始

- 最終選考の決定をもとに、投資・協働が開始されます。また資金については所定の契約書による契約締結後、諸般の手続き等が完了した後、お振込みいたします。

❖ 投資・協働の概要

1. 投資・協働という言葉について

WIT は、東日本大震災を機に設立されました。WIT は、東北から世界的課題を解決する社会起業家を輩出することを目指し、セクターや国境を超えて、人・ナレッジ・資金で社会起業家を支援しています。

東北の被災地で起きている社会課題には、世界の他地域が現在直面、または近い将来直面する課題も多くあります。その諸課題を革新的な手法で解決しようとする社会起業家に対して、リスクをとって起業家の可能性を引き出すような資金調達と経営支援ができれば、東北だけでなく世界の人々がより良く生きられる、多様性にかかれたしなやかな市民社会ができるだろう、と私たちは考えます。

私たちが投資と呼ぶのは、金銭的リターンを求める狭い意味の投資ではありません。投資先の社会的・経済的インパクトが深化・拡大・持続していくことが、広く社会に対する私たちの活動のリターンだと捉えています。また、そのために投資先の組織的・財務的持続可能性が向上することも、投資リターンです。これらのリターンを目指して、WIT が投資先に対して金銭的・人的・知的リソースを投下することを投資と呼びます。その中で、金銭的なリソースの投下には、社会起業団体への助成、社会起業団体が発行する株式および債券への投資、ならびに、それらの仲介が含まれます。

また、WIT は投資先に対して一方的に支援するという関係ではなく、より良い社会の仕組みづくりを共に目指して、協力し合い学びあう関係性を大切にしています。このため協働という言葉も、WIT と投資先の間を表現する際によく用います。

2. 投資期間

- 投資契約書の締結日から 1 年毎に再投資委員会にて投資の継続の有無を決定します。1 年以上、原則として最長 4 年まで

3. 投資ゴール

- 世界的課題を解決する社会起業家を日本の東北地方から輩出すること
- 投資先のインパクトの深化・拡大・持続性の向上、及びそれを可能にする投資先の組織的・財務的持続可能性の向上
- 上記を達成するために、投資先と WIT との間で、投資開始時に個別に設定する個別の目標の達成。主に下記を含む。
 - キャパシティビルディング：
 - 事業モデル、事業戦略
 - リーダーシップ開発、組織構築
 - ガバナンス
 - 財務、資金調達
 - オペレーション
 - マーケティング
 - インパクトアセスメント、インパクトコミュニケーション など

- 事業の成長・持続性向上のための外部リソースの獲得：ファンディング、事業提携相手など
- コミュニティ：他の投資先・多様なセクター・場所から集まる WIT パートナーと間の学びあい高めあう関係性の構築

4. 支援内容

- WIT パートナー（※）とのマッチング：投資先の個別ニーズと WIT パートナーの経験・専門性に基づいて、投資先と WIT パートナーをマッチングします。WIT パートナーは経営陣のメンター／コーチとして、月 1～2 回の投資先との打合せ（オフライン/オンライン）を通じて、メンタリング・経営支援を行います。
 - ※ WIT パートナーは、戦略、投資、人材・組織開発、行政など多様な分野における原則 10 年以上の高い経験値を持つリーダーたちです。パートナーは、プログラム参加費という形で、WIT に年間 20 万円を投資し、社会起業家への経営支援に参画しています。
- ラーニングジャーニー：半年に一度、投資先と WIT パートナーが全員集まる合宿形式の旅です。普段中々話せない各々の原点、想い、直面しているチャレンジ等を語り合い、洞察を得たり学びあいます。
- イシューディスカッション：2～3 か月に約一度、投資先が取り組む社会課題あるいは経営課題の中からテーマを定め、パートナーの専門性から学んだり、問題が起きている構造や有効な解決法について議論をします。
- ファンディング：投資開始時は 1 団体最大 25 万円。その後は投資先のニーズと WIT の資金調達状況に応じて、プロポーザルを受付し、資金提供あるいは資金調達に協力します。詳しい事例については、募集説明会でご紹介いたします。
- インパクトアセスメント：インプット・アウトプット・アウトカム・インパクトの各指標の設定。可視化しにくい活動の社会的インパクトについて、指標設定や効果測定 of 枠組みづくりを支援します。必要に応じて、学術機関との協働や提携支援も行います。
- 経営課題の解決につながる外部組織・個人とのパートナーシップ構築
- その他のカスタマイズ支援：現在実行中の支援メニューの例として、チームコーチング（プロのコーチを投資先に派遣し、交通宿泊費を WIT が負担）があります。その他にも、投資先の状況に応じて、支援や協働内容を適宜共創していきたいと思います。

上記の詳しい事例については、募集説明会でもご紹介いたします。

5. 投資先に求めるもの

- 投資目標の個別設定
- インパクトの報告（半期毎）
- 投資関係に関するフィードバック（半期毎）
- マッチングした担当パートナーとの月 1 回以上の面談（オフラインまたはオンライン）
- ラーニングジャーニーへの参加
- イシューディスカッションへの参加
- 必要に応じて、理事・取締役のシート（ガバナンスを強化する等の理由がある際に双方合意の上で）
- その他投資契約書に定められた事項

❖ WIT について

WIT のミッション、組織概要、沿革等については、ホームページをご覧ください (<http://worldintohoku.org/>)。また WIT のフェースブックページでも、投資先、WIT や WIT パートナーの活動をご報告していますのでご覧ください (<https://www.facebook.com/WorldInTohoku>)。私たちがどんな社会を描きながら社会起業家の皆さんを応援しているかは、インパクトレポートで覗いていただくことができますと思います (<http://worldintohoku.org/impact/>)。

❖ 代表からのメッセージ

この度は応募をご検討いただき、誠にありがとうございます。ここでは、WIT の代表山本が何故この団体を始めるに至ったか、また社会起業とはどういうものと考えているかを、簡単にご紹介させていただきます。

私は大学の頃、非営利団体や開発機関で働くことを目指していたのですが、大学 3 年の夏にマレーシアの孤児院でインターンをして、非営利団体の現場を経験したことが、社会起業に携わるきっかけになっています。その孤児院は、教会が身寄りのない子どもたちを受け入れて運営しており、志の高い活動を行っているにも関わらず、スタッフは疲弊し、資金調達は滞り、その皺寄せが子どもたちにのしかかっていました。ビジネスセクターで見られるような、資金・スキル・ネットワーク等が、非営利セクターでも生かせれば、このような活動もより持続的に効果的になるのに、と考えました。

そこで、「ビジネスセクターに一旦出て、その智慧や経験をいつか非営利セクターに持って帰ってこよう」と、大学卒業後は企業で働き、その傍ら、ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 (SVP 東京) で 7 年間パートナーとして、東京を中心に社会起業家をキャパシティ・ビルディングや資金面から支援してきました。

2011 年、ビジネスセクターへの一つの区切りとして、MBA を取得するため MIT のビジネススクールに入学したのですが、その直前に震災が起きました。震災を機に生まれるであろう多くの意義ある活動がより持続可能にインパクトを出していけるようにと、社会起業家を支援するため WIT を立ち上げました (設立当初は WIA)。世界中の支援を受けて東北から生まれた社会課題解決の事例が育つのを応援することで、世界への恩返しをしたいという想いもありました。

私にとって社会起業精神とは、社会に存在する悪循環 (例えば、特定の人々が不公平や不利益を被るような構造) に対して、それをより良い循環に持続的に変えるために、鍵となるポイントに目をつけ、そこに果敢に携わっていく精神だと思います。ビジネスで使われる考え方やスキルは、社会経済的インパクトを深化・拡大・持続させていくのに役立ちますが、活動自体の営利・非営利とは関係ありません。

社会起業精神は、活動を始めに立ち上げる起業家が強くもっていますが、活動を進めていく過程で、その想いは波及し、多くの人を巻き込み始めます。最初は一握りのチェンジメーカー (変化を創り出す人) がリードしているのが、次第に **Change-Making Communities** になります。組織や場所や立場などの違いを越えて、コミュニティとして変化に向かって歩んでいけるとき、世界はもっと深く持続的に良くなっていくのではないかと思います。自然災害は起こり続けるし、様々な問題はこれからも現れ続けるだろうけれども、困難に対して手を携えて向かえる **Change-Making**



Communitiesが増えれば、より多くの人の中に、よい未来づくりが宿る。WITは、社会起業家の皆さんとそんなコミュニティをつくっていきたいと考えています。

多くの皆さんからのご応募をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

WIT 共同設立者&代表理事

山本未生

以 上